國學院大學学術情報リポジトリ

《コメント１》

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 茂木, 栄 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002001097

【第二部　総合討議】

平本謙一郎　懸田弘訓　上西律子
山名隆弘　茂木　栄　黒﨑浩行
古沢広祐

【司会・古沢】第一部では、大変貴重なお話が続き、多岐にわたる論点が出されたと思います。第二部では、茂木栄先生、黒﨑浩行先生にそれぞれコメントを頂いた上で、討議に入りたいと思います。それでは、まずコメンテーターの茂木栄先生から宜しくお願いします。

《コメント1》

茂木　栄

今、四人の先生方からお話を頂きました。平本先生は、最初はボランティア、のちに仕事として東日本大震災津波伝承館、東日本大震災・原子力災害伝承館という種類の異なる

伝承施設で勤務された経験から、これらの施設がどのような意味を有しているかというようなお話を頂きました。

そして懸田先生は福島の民俗芸能研究の第一人者でいらっしゃいますので、震災以前からの蓄積が大変多くあります。震災後は実際に被災地を歩かれて、震災以前の姿と震災で破壊されてしまった姿、そして徐々に復活して復興していく、その手助けをしながら現在に至っておられます。芸能の復活を遂げている地域が出てきているという現状をお話し頂きました。

上西先生も同じような観点から福島や他の地域の神楽の起源などについて、学びながら交流し、芸能が広域に渡る価値を学ぶことで伝承の力を強固にしていきたいというお話でした。

山名先生は、三人のお話の総括のような形で、民俗芸能の伝え方及び伝承館の復活に関する問題を実際のお話を交えながらご報告頂きました。また、本質的な問題として懸田先生が強調していらっしゃいましたのが、癒しや心の復活ということが一番重要な一方、繊細で難しい心の問題への対応が一番遅れているというお話でした。

私も福島では久之浜のお祭りのボランティアに何回か参加したり、山名先生が祭祀されている浜下り祭も見学させて頂いたり、豊間の浜に下りていく浜下り祭などを見せて頂きました。福島の浜通りについては、浜通りという言い方を改めて考えてみますと、浜が沢山あるから浜通りと言われており、北茨城から宮城までの海岸を何度も往復しましたが、一番感じることは広大な浜だということです。一つ岬を越えると更に浜が続き、九十九里浜が幾つも繋がっているような場所が福島の浜通りです。これは北茨城まで続いている自然風土であり、ここが一番ポイントになるかと思います。その浜には浜下りの行列が四、五月に山から下りてきています。一覧表をご覧下さい（**【表1】**参照）。

浜下りは岩手県南部の気仙沼からあり、福島県では四、五月、毎年行うところもありますし、十二年に一度や七年に一度など式年の浜下りもあります。表1に浜の名前が書いてあります。磯部浜や海老浜、烏浜、同じ浜には幾つも

の山の神社の浜下りがあります。請戸もありますし、四倉浜、新舞子とか、薄磯、小名浜、南に茨城まで、茨城から更に南にもあります。このような山と浜を繋ぐお祭りというのが春にあり、芸能が奉納されます。

先ほど懸田先生が紹介された福島県内芸能の分布図がありましたが、浜通りに随分濃厚に分布していました。こういう浜下りの行列に従い、行列を彩る賑わいとしてたくさんの芸能が奉仕されており、この辺りの浜下り行列を数えてみると廃絶、中断しているものも含め、二〇〇件近くとなります。それが結局、東日本大震災を機に新しい巨大堤防が造られて景観が変わってしまっています。

その様子を写真に撮ってきましたのでご覧下さい。これは山名先生がいらっしゃる福島県いわき市の大國魂神社の浜下りの途中、御旅所の様子です【写真１】。

次にこれは久之浜の旧堤防【写真２】です。この旧堤防の上には全国から集まった清掃ボランティアが清掃を行っており、【写真３】は旧堤防の上に慰霊所が設けられています。

【写真４】は、津波によって流されなかったため、奇跡の社といわれている久之浜の稲荷神社で、そこに嵩上げをして地盤を上げています。

久之浜のお祭りの前に稲荷神社周辺の清掃ボランティアを行いましたが、その周りには新しい家も建っている様子が見られます【写真５】。現在はどうなっているかといいますと、【写真６】が現在の稲荷神社で、周囲よりも少し高くなっていて津波に耐えたということが分かります。【写真７】は諏訪神社で、左側の駐車場も綺麗になっています。

それから、ふれあい館という公民館【写真８】が新しくでき、ここは今や観光地として整備されており、【写真９】のような新しい久之浜・大久地区の観光マップの看板も出ています。【写真10】が久之浜のメインストリートですが、かつては被災によって何もない状態でしたが、生まれ変わりました。

【写真 1】 震災直後のいわき市大國魂神社
浜下り神事

【写真 2】 全国から集まった久之浜
清掃ボランティア

【写真 3】 震災直後久之浜防潮堤上に設けられた
供養の献花台

【写真 4】　奇跡の社と呼ばれた被災直後の
久之浜稲荷神社

【写真 5】　久之浜星廼宮神社跡を清掃する
ボランティア

【写真 6】　現在の久之浜の稲荷神社

【写真 7】 現在の久之浜諏訪神社

【写真 8】 新設された公民館（久之浜・大久ふれあい館）

【写真 9】 新しい久之浜・大久地区観光マップ

【写真 10】　久之浜の新しいメインストリート

【写真 11】　堤防の防災緑地化

【写真 12】　いわき市新舞子浜海岸

【写真11】が先ほどご覧頂いたコンクリート剥き出しだった堤防でしたが、そこに落葉広葉樹を植えて緑化している様子が見られます。【写真12】はいわき市の海岸です。ここも巨大堤防が造られています。【写真13】は平の豊間の浜で、山名宮司の大國魂神社の浜下りが通るところですが、海を見つめている銅像が建っています。【写真14】は久之浜の南の方に新しい施設ができまして、堤防を造り緑化し、モダンな新しい町づくりをしています。それを観光や別荘地に利用することを考えているようです。

【写真 14】 合磯海岸堤防の緑化

【写真 13】 豊間海岸「海を見る」像

【写真 15】 原町火力発電所北泉海水浴場

このように沿岸部の景観が変わってきております。浜通りを見て分かることは、大量の空地が残っているということです。【写真15】は原町の火力発電所です。ヘリポートができていますけれども、福島第一原発や第二原発もありますし、火力発電所が岬の所に転々と造られています。そして小名浜などに象徴されますが、四日市のような巨大なコンビナートなどがあります。更に海岸地帯には、見るからに工場立地に使えそうな広大な空き地が残されています。今後どのような活用をされるのか心配されるところです。

心の復活ということが段々できてきて明るい気持ちになる一方、

土地の利用ということに関して非常に懸念されます。土地に関しては二極分解していると思います。綺麗な観光地のような美しいモダンな地域の出現と、何もない、工場立地に最適な土地が残されているという二極化がどのように推移していくのか、それが希望にもなり、落胆にもなるような印象を持っております。四人の先生方、お話を頂きましてありがとうございました。やはり心の問題、これが十年経過し解消の方向に向かっていくような明るい希望というのを感じました。以上でコメントを終了します。

表１　宮城県・福島県下の浜下り神事分布表

宮城県

番号	平成合併前の行政地名	神社名	通称	祭神	祭日	浜下り神幸地
1	本吉郡唐桑町御崎	御崎神社	おさきさん	大海津見神(配祀)素戔嗚尊(合祀)日本武尊	1月15日(旧)	神社近く清浄な海岸
2	本吉郡唐桑町鮪立早馬山	早馬神社	権現様	倉稲魂命	9月19日(旧)	舟で唐桑半島突端へ
3	気仙沼市亀山	大島神社	御田の神様	倉稲魂命	9月15日	
4	気仙沼市字後九条	羽黒神社		倉稲魂命	10月10日	
5	気仙沼市魚町	五十鈴神社		天照皇大神（配祀）大海津見神素盞嗚神	3月27日	浦祭り・竜宮舟流し
6	気仙沼市東八幡前	八幡神社	鹿折八幡神社	應神天皇（配祀）宇賀御魂命巌杵嶋姫命（合祀）大山祇大神櫛御氣野命	9月14日	
7	気仙沼市赤岩字上羽田	羽田神社		月讀命倉稲魂命（配祀）大己貴命大雷神天照皇大神素盞嗚尊少彦名命	8月15日(旧)	
8	気仙沼市字波路上岩井崎	琴平神社	こんぴらさん	大物主大神事代主大神（配祀）大海津見神（合祀）譽田別神櫛御毛氣野神雷神		
8'	気仙沼市階上	秋葉神社				
9	本吉郡本吉町大谷	須賀神社	お天王さん	須佐之男命	3月15日(旧)	大谷海岸
10	本吉郡本吉町津谷	御岳神社		水分大神（配祀）水波能賣大神（合祀）一言主大神經津主大神天兒屋根神天皇大神武甕槌神須佐之雄命迦久槌大神譽田別天皇	9月22・23日	登米沢浜
11	本吉郡歌津町田の浦	八幡神社	譽田別尊		4月15日	田の浦浜
12	本吉郡歌津町	尾崎神社		上筒男命 中筒男命 底筒男命		
13	本吉郡志津川町波伝谷	戸倉神社	戸倉明神	武内宿禰 國常立命 天兒屋根命	3月3日	塩筒池
14	登米郡東和町米谷	秋荷神社		伊弉諾尊 伊弉冉尊（配祀）應神天皇 面足命（合祀）五十猛命 建御名方命 經津主命 武甕槌命	5月1日	
15	登米郡東和町米谷楼台	鳥海神社	とりのうみ	倉稲魂命	9月15日(旧)	恩田川
16	石巻市雄勝町	船魂神社				
17	石巻市雄勝町大字大須字大須	八幡神社		譽田別命	3月15日(旧)	
18	石巻市雄勝町	五十鈴神社				
19	石巻市雄勝町大字桑浜	白銀神社		金山毘古神 金山毘賣神	3月19日(旧)	
21	石巻市寄磯	熊野神社		家都御子命	4月10日	
22	牡鹿郡牡鹿町大字鮎川浜	金華山神社	きんかさん神社	金山毘古神 金山毘賣神	5月上巳の日	海上の祓い
23	牡鹿郡牡鹿町大字鮎川浜	熊野神社		伊弉册命（合祀）素盞嗚尊天照大神	7月15日	
24	石巻市大字田代浜	稲荷神社		倉稲魂命	9月9日(旧)	白浜
25	石巻市桃浦	五十鈴神社		天照皇大神	3月2日	

表１　宮城県・福島県下の浜下り神事分布表（続き）

宮城県

番号	平成合併前の行政地名	神社名	通称	祭神	祭日	浜下り神幸地
26	石巻市小竹	三枝神社				
27	石巻市小竹	厳島神社				
28	石巻市狐崎	稲荷神社				
29	石巻市牧山	零羊崎神社	まぎやま じんじゃ	豐玉彦命	5月8日・10月8日	長浜海岸
30	石巻市日和山	鹿島御児神社	ひよりやま神社	武甕槌命 鹿嶋天足別命	5月第二日曜	雲雀野海岸
31	加美郡中新田町四日市場	鹿島神社	かしま様	武甕槌神	9月10日	宮城郡」松ヶ浜
32	加美郡宮崎町麓	熊野神社	くまの様	天照皇大神 伊邪那岐命 伊邪那美命	3月15日(旧)	鳴瀬川河口→沖ノ明神岩
33	仙台市木ノ下	白山神社		伊邪那岐神	4月節供	深沼
34	仙台市茂庭	生出森八幡神社	おいでもり はちまん	應神天皇	4月20日	名取川生出橋付近
35	桃生郡北上町橋浦	愛宕神社		火産靈神 火之炫毘古神	6月24日	北上川
36	牡鹿群女川町江の島	久須師神社		少彦名神	5月8日	舞の浜
37	牡鹿群女川町	三國神社		彦火火出見命	4月18日	
38	牡鹿郡女川町出島	八雲神社		素戔嗚尊	5月15日	桟橋
39	牡鹿郡牡鹿町網地島長渡	雷神社			3月15日(旧)	海
40	名取市	館腰神社		倉稻魂神 大宮姫神 猿田彦神 大雷神 須佐之男命 武甕槌神 御氣野神 伊邪那美神 譽田別尊 羽山津見命 熊野櫛御食野命 中井新三郎 稻田姫命 天照大御神	4月10日	
41 ①	名取市高館吉田字舘山	熊野那智神社		伊弉冉命 早玉男命 建御賀豆智命 大山咋命 倉稻魂命 大那牟遲命	6月10日	閖上浜
41 ②	名取市高舘熊野堂字五反田34	熊野本宮社		伊弉冉尊	4月18日	北釜浜
41 ③	名取市高舘熊野堂字岩口上	熊野新宮神社		速玉男命 伊弉諾尊 事解男命	4月19日	閖上浜
42	亘理郡山元町高瀬字笠野	八重垣神社	お天王さま	素盞嗚尊（合祀）建御名方神 天之御中主神 宇迦之御魂神 雷神	6月15日	笠野浜
	亘理郡山元町山寺字浜	青巣稲荷神社		宇迦之御魂神（合祀）綿津見神 大山咋神 忍穗耳之命 熊野加武呂岐櫛御食野命	4月3日	
44	亘理郡亘理町荒浜字明神西	川口神社		宇迦之御魂神 大海津見神（配祀）大山祇神（合祀）水波之賣命 譽田別尊 保食神 鳴雷神 埴山姫神	4月20日	海岸
45	角田市横倉字馬場内	愛宕神社		火之迦具土命 大國主神 神倭伊波禮毘古命	9月24日	近くの用水掘
46	伊具郡丸森町	八雲神社	お天王さん	建速須佐之男命	6月15日(旧)	近くの川

表１　宮城県・福島県下の浜下り神事分布表（続き）

福島県

番号	平成合併前の行政地名	神社名	通称	祭神	祭日	浜下り神幸地
1	新地町埒木崎	八重垣神社	天王様	須佐男之命	4月3日	埒浜
2	新地町福田	諏訪神社		建御名方命	5月2日	埒浜
3	新地町福田	水神社		水波能賣命	4月3日	釣師浜
4	新地町駒ヶ嶺	子眉嶺神社	奥の相善宮	豐受比賣命	3月7日	今神浜
5	相馬市柏崎	日吉神社	山王権現	大山咋之	3月13日	磯部浜
6	相馬市赤木	日吉神社	山王様	大山咋神	4月15日	磯部浜
7	相馬市磯部	稲荷神社	寄木明神	豐受姫神 寄木明神	3月最終日曜日	磯部浜
8	相馬市磯部	天王神社		不明	6月15日	磯部浜
9	相馬市蒲庭	八竜神社		不明	4月8日	蒲庭浜
10	相馬市蒲庭	熊野神社		不明	4月8日	八沢浜
11	飯館村大倉	山津見神社	十六善神	山祇神	4月20・21日	海老浜
12	飯館村草野	綿津見神社	八竜大明神	大綿津見神 閤於加美神 玉依姫命 五十猛神（配祀）鎌倉權五郎景政	4月29日	烏浜
13	飯館村佐須	山津見神社	佐須の山の神様	大山祇尊	3月17日	
14	鹿島町上栃窪	八竜神社		不明	4月8日	海老浜
15	鹿島町御山	葉山神社		不明	4月8日	海老浜
16	鹿島町山下	山王神社		不明		烏浜
17	鹿島町大字岡和田	降居神社		瓊瓊杵命	4月8日	烏浜
18	鹿島町寺内	男山八幡神社	八幡さま	譽田別命 息長足姫命 建御名方神	4月中旬土・日	烏浜
19	鹿島町江垂	日吉神社	山王社	大山咋命（合祀）綿津見大神 猿田彦神 熊野神	4月中旬土・日	烏浜
20	鹿島町右田	薬師堂			4月8日	高屋浜
21	鹿島町右田字剣宮	御刀（みと）神社	おつるぎ様	經津主神	4月15日	高屋浜
22	鹿島町大字北海老	鶏足神社		宇比智迩神	4月8日	海老浜
23	鹿島町海老	虚空蔵尊			3月21日(旧)	海老浜
24	鹿島町鹿島	鹿島御子神社		天足別命 志那都比古命 志那都比賣	4月20日	右田浜
25	鹿島町大内	愛宕神社		不明	6月24日	烏浜
26	鹿島町大内	浮津神社		不明	4月9日	烏浜
27	鹿島町烏崎	津神社		不明	4月8日	烏浜
28	鹿島町烏崎	八竜神社		不明	4月8日	烏浜
29	原町市大原	八竜神社		不明	4月17日	萱浜
30	原町市信田沢	雷神社		雷神	4月17日	萱浜
31	原町市泉	出羽神社		不明	4月15日	北泉浜
32	原町市萱浜	八竜神社		不明	4月8日	萱浜
33	原町市馬場	八竜神社		不明	4月8日	雫浜
34	原町市江井	八竜神社		不明	4月8日	小浜
35	小高町大井	益多嶺（ますたみね）神社	甲子大国社	大國主命 少彦名	4月8日	塚原浜
36	小高町蛯沢	稲荷神社		倉稻魂	2月初午	浦尻浜
37	浪江町棚塩	貴船神社		不明	9月19日	棚塩浜

表１　宮城県・福島県下の浜下り神事分布表（続き）

福島県

番号	平成合併前の行政地名	神社名	通称	祭神	祭日	浜下り神幸地
38	浪江町請戸	苕野（くさの）神社	安波様（あんばさま）	閤淤加美神 五十猛神 大屋津姫命 抓津姫命	1月24日	請戸浜
39	双葉町中田	稲荷神社		稻蒼魂命 大己貴命 大宮姫命 太田命 保食命	2月初午	中浜
40	大熊町熊	秋葉神社		不明	2月18日	熊川浜
41	富岡町上手岡	麓山神社	はやま様	麓山祇命	9月15日	小良浜
42	富岡町本岡	諏訪神社	お諏訪さま	建御名方命 御穂津津美命	4月8日近日曜	仏ヶ浜
43	富岡町下郡山	四十八社山神社	八社山（はっしゃやま）	海津見神	10月10日	
44	楢葉町竜田	竜田神社	風の宮	志那都毘古命（配祀）志那都毘女命	9月29日	井出浜
45	楢葉町山田岡	出羽神社		宇迦之御魂命（配祀）櫛御氣野命 麓山祇之命	4月第2日曜	山田浜
46	楢葉町上小塙	大滝神社		伊邪那美命 速玉之男命 大事忍男命 瀬織津姫命	4月第2木曜日5日間	山田浜
47	広野町上浅見	大滝神社		瀬織津比賣	4月8日	下浅見浜
48	広野町下浅見	鹿島神社		武甕槌神 經津主神	4月8日	下浅見浜
49	広野町折木	八雲神社	天王様	素盞嗚尊	6月15日	末次浜
50	いわき市久之浜町大字末続	見渡神社		國常立尊	4月8日	末次浜
51	いわき市久之浜町久之浜	諏訪神社	お諏訪様	建御名方命 八坂刀賣命（合祀）建速須佐之男命	5月4日	大久川河口
52	いわき市久之浜町	愛宕神社		不明	5月4日	大久川河口
53	いわき市久之浜町	神社名不明		不明	4月8日	大久川河口
54	いわき市久之浜町久之浜	津守神社	明神さま	大海津美神	5月4日	大久川河口
55	いわき市大久村大字小久	熊野神社	熊野さま	速玉男命 伊弉册命 事解男命	5月4日	大久川河口
56	いわき市久之浜町田ノ網	三島神社	三嶋さま	大山祇命	6月15日	田ノ網浜
57	いわき市四倉町上仁井田	諏訪神社		建御名方命	5月4日	四倉浜
58	いわき市四倉町	安房神社		不明	4月8日	四倉浜
59	いわき市四倉町西	羽黒神社	出羽神社	伊弓波神	5月4日	四倉浜
60	いわき市仁井田	諏訪神社			4月8日	仁井田浜
61	いわき市四倉町玉山	十市神社		伊佐奈伎命	5月4日	四倉浜
62	いわき市四倉町白岩	鹿島神社		武甕槌命	5月3日	四倉浜
63	いわき市四倉町名木	八幡神社		譽田別命	5月4日	仁井田浜
64	いわき市四倉町狐塚	稲荷神社		倉稻魂神	5月4日	仁井田浜
65	いわき市原高野	大神宮		不明	4月8日	四倉浜
66	いわき市下神谷	愛宕花園神社	権現様	珂遇突智命 木花開爺姫命 瓊瓊杵命	5月3日	新舞子浜
67	いわき市平中神谷	立鉾鹿島神社		武甕槌神	5月5日	新舞子浜
68	いわき市平中神谷	出羽神社	羽黒様	大物忌命	9月15日	沢帯海岸
69	いわき市平菅波	大国魂神社	菅波様、菅波の明神様	大己貴命 事代主命 少彦名命	5月4日	豊間浜

表１　宮城県・福島県下の浜下り神事分布表（続き）

福島県

番号	平成合併前の行政地名	神社名	通称	祭神	祭日	浜下り神幸地
70	いわき市平下大越	白山神社		菊理比賣命 伊邪奈伎命 伊邪奈美命	５月４日	下大越の浜
71	いわき市平下大越	八坂神社			６月 15 日	下大越の浜
72	いわき市平藤間	新山神社		大日ルメ貴命	５月４日	藤間の浜
73	いわき市上高久	二荒神社	日光様	田心姫命 大己貴命 事代主命	５月５日	薄磯の浜
74	いわき市平下高久	八剣神社	明神様	日本武尊	５月４・５日	薄磯の浜
75	いわき市平中山	佐麻久嶺神社	中山様	五十猛命	５月４・５日	薄磯の浜
76	いわき市下山口	二荒神社	日光大権現様	事代主命（配祀）徳川家康	５月５日	薄磯の浜
77	いわき市平神谷作	鹿島神社		武甕槌神	５月４日	沼之内浜
78	いわき市平薄磯	薄井神社		大綿津見神	５月４日	薄磯の浜
79	いわき市常磐上矢田花木下	鹿島神社		武甕槌神	５月３日	江名浜
80	いわき市鹿島町上蔵持	白山神社		菊理姫命	５月５日	江名浜
81	いわき市鹿島町下蔵持	熊野神社		五十猛命 速玉男命 伊弉册命 泉津事解男命	５月５日	江名浜
82	いわき市平豊間	諏訪神社		健御名方神 八坂刀賣命	５月４日	豊間二見浦
83	いわき市江名	諏訪神社		建御名方命	５月４日	江名浜
84	いわき市折戸	根渡神社		表筒之男命 中筒之男命 底筒之男命	５月５日	折戸浜
85	いわき市中之作	諏訪神社		建御名方命	５月４日	中之作浜
86	いわき市永崎	稲荷神社		宇迦御魂大神	５月４日	永崎浜
87	いわき市小名浜諏訪町	諏訪神社		建御名方命 八坂刀賣命（配祀）春日大神 八幡大神 船霊大神 大歳御祖大神	５月４日	小名浜
88	いわき市小名浜南豊岡	鹿島神社		武甕槌命	５月４日	小名浜
89	いわき市常磐湯本町	温泉神社	湯泉様（ゆうせんさま）	少彦名命 大己貴命（配祀）事代主命	５月２日	下川神笑海岸
90	いわき市常磐関船町	諏訪神社		建御名方大神（配祀）下照姫大神	５月４日	下川神笑海岸
91	いわき市水野谷	八坂神社		不明	５月４日	小名浜
92	いわき市下船尾	諏訪神社		不明	不明	小名浜
93	いわき市玉川	住吉神社		不明	10 月 12 日	小名浜
94	いわき市山田町岸ノ内	諏訪神社		不明	不明	岩間の浜
95	いわき市渡辺町中釜戸	諏訪神社	釜戸のお諏訪さま	建御名方命	不定	大剣海岸
96	いわき市常磐藤原町	熊野神社		速玉之男神 伊邪那美命 事解之男神	４月８日	小名浜
97	いわき市常磐白鳥町龍ヶ崎	熊野神社		速玉之男神 伊邪那美命 事解之男神	５月５日	小名浜
98	いわき市常磐西郷町金山	金山神社		金山彦命 金山比賣命	５月５日	小名浜
99	いわき市常磐長孫町八幡平	八幡神社	長孫八幡宮（おさまごはちまんぐう）	譽田別命	５月５日	小名浜
100	いわき市常磐岩ヶ岡町山王作	日吉神社	山王さん	大山咋命	５月５日	小名浜

表１　宮城県・福島県下の浜下り神事分布表（続き）

福島県

番号	平成合併前の行政地名	神社名	通称	祭神	祭日	浜下り神幸地
101	いわき市常磐馬玉町大久保	牛神社	馬玉牛宮社（まだまうしみやしゃ）	大日ルメ命	５月５日	小名浜
102	いわき市渡辺町洞	鹿島神社		武甕槌之大神	４月 14 日近日曜日	大剣海岸
103	いわき市泉町小山	鹿島神社		武甕槌之大神	５月３日	大剣海岸
104	いわき市泉	諏訪神社		健御名方命 譽田別命	５月３日	大剣海岸
105	いわき市泉町下川	出羽神社		宇迦御魂命	５月５日	大剣海岸
106	いわき市泉町下川	根渡神社		瀬織津姫命	５月５日	大剣海岸
107	いわき市泉町下川	津神社		綿津見命	５月５日	大剣海岸
108	いわき市小浜町台	愛宕神社	愛宕権現	迦具土神	７月第３日曜日	小浜の浜
109	いわき市小浜町中ノ作	那智神社	那智権現	伊佐那岐命 伊佐那美命	７月第３日曜日	小浜の浜
110	いわき市錦町鬼越下	鬼越神社		不明	４月８日	
111	いわき市錦町宮前	八坂神社		不明	不明	
112	いわき市錦町中ノ町	星之宮神社		不明	不明	
113	いわき市勿来町四沢伊勢林	伊勢両宮神社		天照皇大神 豊受大神 天照皇大神 豊受大神		関田浜
114	いわき市御斎所山	熊野神社		不明	８月１日	錦の須賀の海岸
115	いわき市山田町上山田堀ノ内	北野神社	天神様	菅原道眞	４月８日	岩間の浜
116	いわき市大林	鹿島神社		不明	４月８日	岩間の浜
117	いわき市山田町社岡	月山神社		不明	４月８日	岩間の浜
118	いわき市小山田	武塔神神社		不明	４月８日	岩間の浜

①宮城県については、小野寺正人「宮城県における浜降り神事について」『東北民俗』第６輯、昭和 46 年発行を参考にした。

②福島県については、福島県立博物館編『福島県における浜下りの研究』（福島県立博物館学術調査報告書第 28 集）平成９年刊、及び岩崎敏夫『本邦小祠の研究―民間信仰の民俗学的研究』岩崎博士学位論文出版後援会、昭和 38 年刊を参考にしながら、新たなデータ（神社本庁制作『平成祭データ』平成７年発行）を加えて作成した。